

令和4年度 小樽市立高等看護学院関係者評価委員会  
委員からの意見について

日時：令和5年3月22日（水）10：00～11：00

場所：小樽市立病院

出席者：小樽協会病院 看護部長 松野 千代美様  
小樽市立病院 事務部長 佐々木 真一様  
小樽市立高等看護学院同窓会会長 村上 圭子様  
小樽市立高等看護学院 学院長 馬淵 正二  
                                  "                  事務長 佐藤 暢起  
                                  "                  副学院長 佐藤 節子  
                                  "                  教務主幹 日達 泉

【会議内容】

1) 令和4年度の学校評価について

【質問・意見】

- ・研究活動（自己評価項目・IX）の結果は、人員が不足という理由よりは職場に文化的な素地がないのでは。経営面から困難な状況は理解できるが、可能な限り自己研鑽のための予算について検討してはどうか。例えば関係する書籍の購入や、インターネットの活用（文献検索など）といった職場環境の整備など。
- ・自己評価項目のIX・研究活動、VIII・地域社会・国際交流の結果から、卒業生の地域の定着状況や地元で勤務するニーズの調査など、市内の病院等と協力して実施するなどはどうか。
- ・講師への授業評価アンケートの結果の報告については行っているか。→点数の開示はできていないが学生からの要望についてはその都度伝えている。講師としてはアンケートの結果は講義の改善にもつながり、結果、学生への利益となるため、ぜひ実施してほしい。

2) 北海道指導調査結果について

令和4年10月に実施され、文書にて教育課程の運営は適正であると評価をいただいたことについて報告した。

3) その他

副学院長より

- ・次年度は受験科目の数学についてⅠ・Ⅱ⇒Ⅰのみとする方向で検討中。理由として、近隣の札幌市内の看護学校は数Ⅱを科目としているところはない。少子化の影響、大学志向などニーズも変わってきている。状況を鑑みた柔軟な入学試験のあり方を検討していきたい。

以上、いただいた意見について改善策を検討するようにいたします。